

事業番号	10 03 07	事業改善シート (25年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州の木と住まいの総合対策事業				担当課	部局	林務部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	信州の木活用課県産材利用推進		
	施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 2 信州の木の利用促進			E-mail	mokusai@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	H14 ~		

1 事業の概要

目指す姿	重点実施している間伐等の森林整備により生産された木材の出口対策として、住宅への確実な需要確保のための木造住宅建築等に対する助成や普及啓発及び信州の木の家推進員(信州ウッドマイスター)の育成を総合的に推進する。		
現状	<input type="checkbox"/> 森林整備により生産される木材の出口対策は、健全な森林を育成するために重要であるため、県産材の利用を推進するため需要者を対象とした積極的なPRが必要である。 <input type="checkbox"/> 県産材を扱っていない工務店がウッドマイスター講座に参加して県産材の住宅を建築するようになった等の具体的な効果がある。 <input type="checkbox"/> 県産材利用割合約20% (県産材利用実態調査結果より) <input type="checkbox"/> 長野県森林づくり指針の目標である、信州木材認証製品等出荷量 50千m ³ (H32)の達成のため更なる普及啓発が必要である。		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 森林整備加速化・林業再生基金活用事業	
	県民との協働による実施：困難		

事業内容	① 成果目標 (H25)			
	長野県森林づくりアクションプランの目標値 信州木材認証製品等出荷量 9千m ³ (H23)→20千m ³ (H27)→50千m ³ (H32)			
	② 事業内容 (単位:千円)			
	項目	実施方法	H25事業実績	H25 (当初) (決算) H26 (当初)
2.信州木の家推進員育成事業	補助	信州木の家マイスター講座の開催 県産材の展示会の開催	2,500 2,500 2,500	
合計			2,500 2,500 2,500	

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越				
	当初予算	45,850	7,820	2,500	2,500
	補正予算				
	合計(A)	45,850	7,820	2,500	2,500
	国庫支出金				
	県債				
	その他(繰入金)	45,850	7,820	2,500	2,500
	一般財源	0	0	0	0
	決算額(B)	45,850	7,820	2,500	
概算人員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	
概算人件費(C)	1,652	1,652	1,652	1,652	
概算事業費(B(A)+C)	47,502	9,472	4,152	4,152	

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
信州木材認証製品等出荷量	8,057m ³	11,000千m ³	11,578m ³	達成	15千m ³

目標に対する成果の状況	平成25年度の信州木材認証製品出荷量は平成24年度の出荷量を上回り、目標を達成することができた。出荷量は民間需要に左右されるものの、公共施設等への利用を更に推進するため、県内外の工務店や建築士を対象にウッドマイスターステップアップ講座を開催して木材の知識を深めてもらうなど、信州木材認証製品の普及啓発に努める。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 地球温暖化防止に向けた森林吸収目標の達成と木材を活用した低炭素社会の実現が求められている。その実現のため、持続可能な林業・木材産業の振興を図り、更なる住宅・建築物への県産材木材利用量の増大を図っていくため、普及啓発事業として今後も継続していく。
--------------------	---